児童•思春期精神医療入院診療計画書

看護師

主治医

患 者 氏 名	(男・女)	生年月日	昭・平・令	年 月 日生 (歳)	
診断名(状態像名)		•	ICD-10(コード	番号):	
I. 発育·社会的環境					
発達・生育歴	家族構成:	社会的環境	:	c. 職歴	
□特記事項なし	(同居家族を含む)	a. 就学状況			
□あり		b. 教育歴		d. 交友関係など	
		(最終学歴:)		
Ⅱ. 入院時の状況					
入院年月日	年月日 (曜日)	入院	□任意入院	□医療保護入院	
		形 態	□措置入院	□その他	
患者:	,				
訴 家族(父・母・その他):					
特別な栄養管理の必要性:	有 ・ 無				
症状 および 問題行動:					
A. 行 動:a. 動 き:□多動 □寡動 □常同症 □拒絶症 □奇妙な動作()					
b. 表 情:□不安・恐怖・心配 □憂うつ □怒り・敵意 □無表情					
c. 話 し 方:□緘黙 □不明瞭 □吃音 □反響言語					
d. そ の 他:□睡眠障害 □食行動異常 □排泄障害 □習癖異常					
B. 情 緒:□不安定 □無感情 □怒り・敵意 □不安・恐怖・心配 □高揚 □抑うつ気分 □感情の不調和					
C. 対 人 関 係: □ひきこもり □自己中心的 □他罰的 □共感性欠如					
D. 知的機能:□注意散漫 [□興味限局 □記憶障害 □知的	障害 □学習((能力) 障害		
E. 意 識:□見当識障害 □意識障害					
F. 意	意				
G. 行 為:□自傷 □他害・暴行 □盗み □器物破損					
H. 知					
Ⅰ.思 考:□心気症 □強迫観念・行為 □恐怖症 □自殺念慮・自殺企図 □離人体験 □病的な空想 □作為体験					
□罪業妄想 □被害・関係妄想 □その他の妄想() □連合障害					
J. そ の 他:□病識欠如 □不登校 □計画的な行動がとれない □衝動コントロールの欠如 □主体性の未確立					
具体的な事柄: (※) 担当者名					

精神保健福祉士

公認心理師

その他

Ⅲ. 治療計画		(患者氏名)	
予定治療期間(週間/月)	基本方針:		
本人の希望:				
		治療と検査:		
家族の希望 :		A. 治療:		
		精神療法:		
		□個人精神療法: 回/週 □集団精神療法:	回/週	
 目標の設定 :		□認知行動療法: 回/週 □生活療法:	回/週	
		薬物療法:		
		□抗精神病薬 □抗うつ薬 □抗躁薬 □抗不安薬	K	
同意事項:		□抗てんかん薬 □睡眠導入剤		
□検査	□診断の確定	□その他()	
□薬物療法の調整	□精神症状の改善	B. 検査:		
□問題行動の改善	□生活リズムの改善	理化学検査:		
□家族関係の調整	□主体性の確立	□血液検査 □心電図 □脳波 □X 線		
□社会復帰		□CT (MRI) 検査 □その他(
□その他()	心理検査:		
	,	□知能検査()	
		□性格検査()	
行動制限:□なし □	あり(電話、面会、外出	【、外泊、その他) 隔離室・個室使用:□なし	□あり	
□家庭内適応 □復学 □就労 □デイケア □地域作業所 □施設入所				
退院後の目標: □その他()	
L IV. 家族へのアン				
面接:		具体的アプローチ		
□家族面接: 回/週・月(□父親 □母親 □その他())				
□本人との同席面接: 回/週・月				
その他: □家族療法: □/週・月 □その他: □/週・月				
□ ■ 以示 の		の他: 四/週・月		
入院中の教育的配慮:		学校への具体的アプローチ: □本人の同意 □保護者	 その同音	
八院中の教育的配慮: □院内学級・院内分	校への通級(学)	□担任 □養護教諭 □生徒指導担当 □その他()	
	の通学 □訪問学級	□現状での問題点()	
□通信教育 □その	他 ()	□今後の方向性()	

上記説明を受けました。 年 日 本人サイン 月 保護者サイン

(注)内容は、現時点で考えられるものであり、今後の状態の変化等に応じて変わり得るものである。 (児童・思春期精神医療入院診療計画書記載上の注意)

- 1. 入院の早い時期に、医師、看護師、精神保健福祉士、公認心理師などの関係者が協力し、治療 計画を決めること。
 2. すみやかに、患者、保護者へ説明を行うとともに交付すること。(病状によっては、別紙2のみ
- の交付でも可)